

2012年産アメリカ産ドライアップル市況



2012年米国産リンゴの収穫量は、前年比86%の403万ショートトンになるとの予想です。ワシントン州などの西部地区では前年比で106%と豊作でしたが、ニューヨーク州やミシガン州などの東部地区、中西部地区で昨年3月に例年より早く気温が上昇し、開花が早まったものの、その後、4月頃に再び気温が低下し、多くの蕾が遅霜の被害を受けました。その為、今期の収穫量は前年比で東部地区:69%、中西部地区:21%と大減産となりました。特にグレースランド社のあるミシガン州では、前年比で11%(89%減)と甚大な被害を受けました。

(単位:ショートトン)					
	東部地区	(内ミシガン州)	中西部地区	西部地区	アメリカ全体
2011年	1,162,000	(492,500)	607,000	2,941,000	4,710,000
2012年(予想)	801,000	(52,500)	126,000	3,106,000	4,033,000
前年比	69%	(11%)	21%	106%	86%

グレースランド社では主にミシガン州とその周辺の州から原料を調達していますが、他の地区からも調達している様です。但し、主産地である中西部地区の減産の影響を受け、現地価格は前年比で約1.5倍となっています。また、円相場も円安に推移している事から、仕入コストが大幅に値上げする状況になりました。

弊社ではアメリカ産以外にも青島秀愛食品有限公司で製造した中国産糖置換アップルダイスも取り扱っておりますので、詳細については弊社営業担当者までお問い合わせいただきます様、よろしくお願い申し上げます。